



【学校教育目標】 自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる

【育成をめざす資質・能力】

- ・多面的に考える力（比べる・関係づける）
- ・根拠に基づく判断力（目的に立ち返って）
- ・**場に応じた表現力**（話す・書く・伝え合う）
- ・勇気ある行動力（失敗を恐れず挑戦する）
- ・他者から学ぶ姿勢（認め合い・学び合い・支え合い）

GIGAスクール構想

「情報活用能力」を学習の基盤として

「選択」と「活用」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「誰一人取り残さない」



【めざす子ども像】

- ・自ら学ぶ子…自分で考え行動する子
- ・やさしい子…人の言葉に耳をかたむける子
- ・元気な子 …心も体も健康な子

【めざす学校像】

- ・明日の登校が待ち遠しい学校
- ・一人一人の子どもを徹底的に大切にする学校
- ・保護者・地域・社会と連携・協働して子どもを育む学校

【めざす教職員像】「チーム四錦」～学校づくりの主体者として自分に何ができるか～

- ・目的意識を持って果敢に挑戦を楽しむ教職員集団
- ・自らの働き方と資質・指導力向上への意識改革を進める教職員集団
- ・ワークライフバランスを意識し、専門性と社会性を兼ね備えた教職員集団

【重点目標】自信をもって表現する力 <キーワード>個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

(子ども)

- | | | |
|--------------|---|------------------------------|
| ・全員が発表する | ↔ | ・話し方・聞き方、的確な発問、相互指名 |
| ・自分の言葉で話す・書く | ↔ | ・問題意識、問い合わせ、ノート指導 |
| ・言葉以外の方法で表す | ↔ | ・多様な表現方法の経験 |
| ・場に応じた方法で伝える | ↔ | ・メディアの特性の理解と、相手意識を持った情報発信の指導 |
| ・相手を納得させる | ↔ | ・根拠に基づいた情報とその伝え方 |

(教職員)

【「生きる力」を育む具体的な取組】

<自ら学ぶ子>確かな学力の育成

◎自ら学ぶ力を育てる

- ・自学自習の習慣化（家庭学習の充実）
 - ・自ら学びとする学びの「すべ」の獲得（情報活用能力の育成）
 - ・学習の型を徹底した指導
 - ・「わかる」→「できる」→「生かす」を目指す学習活動
- ◎「社会とかかわる力」を育てる
- ・社会とのつながりを実感できる学習活動（吉田の再発見）
 - ・家庭・地域と共に進める情報モラル学習
 - ・プログラミング教育の推進
 - ・英語教育の充実
 - ・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善
 - ・専科制、交換授業
 - ・組織的カリキュラムマネジメント

<やさしい子>豊かな心の育成

◎自ら律する力を育てる

- ・「あいさつ」「あんぜん」「あとしまつ」の徹底
- ・認め合い、学び合い、支え合う学習集団づくり
- ・しなやかな道徳教育の実践
- ・特別活動の充実
- ・多様性を認め、デジタル社会をよりよく生きる人権感覚の涵養
- ・総合育成支援教育・国際理解教育の充実（個に応じた支援）
- ・キャリアパスポートの活用
- ・伝統文化・芸術体験の充実
- ・「四錦のやくそく」の徹底（規範意識の育成）

<元気な子>健やかな体の育成

◎基本的生活習慣の確立

- ・「新しい学校の生活様式」の定着
- ・運動することの楽しさや喜び、達成感・成就感を味わう学習活動
- ・食事・運動・休養・睡眠の調和のとれた生活習慣、自分自身の健康を保持・増進しようとする意識と態度の育成
- ・飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- ・子ども自身が危険を予測し、主体的に危険を回避する思考力及び適切に行動できる判断力の育成
- ・食に関する指導の推進
- ・姿勢を保持する体幹

家庭・地域との連携・協働

各学年・学級

保・幼・小・中との連携

「社会に開かれた教育課程」の実現

<学校・PTA統一スローガン>
すべては 四錦の子どものために